

気になった参加者Pick UP



一目惚れして購入を決めたという中村貴博（ナカムラタカヒロ）さんは、Z1Rで参加。ウエマツのツーリングは楽しいので毎回参加の無欠席。いろいろな要望に報えてくれるのでウエマツにして良かったと感想を漏らしてくれた。



ルミナスレッドのZ750FXで参加の橋田晶夫（クスダアキオ）さんは、Zの角張ったスタイリングが気に入っているとこと。ツーリングには2回目の参加で、アフターケアが良いのでウエマツで購入して良かったとバイクも満足。



GS750Eでカップル参加の高橋功司（タカハシコウジ）小嶋陽子（コジマヨウコ）さん。今回はタンデムだけれど小嶋さんもインパルスを所有しているそうだ。アフターケアもツーリング企画も、楽しませてくれるウエマツに期待。



CB750Four K3で参加の小原雄二（オハラユウジ）さんは、今回が初めての参加で自分が最年長に近いのではと心配しつつも、思いっきり楽しんでいました。CBのスタイルとサウンドに惚れ込んでZ1から乗り換えたそうだ。



ウエマツ技術部門の磯野徹・玄正・月葉（イソノトオル・ゲンセイ・ツキハ）さん、浦屋弥生・瑠那・怜季・久美子（ウラヤヤヨイ・ルナ・リョウキ・クミコ）さんのご家族（写真向かって左から）。磯野さんと浦屋さんは、ウエマツで販売された車両の整備を実施する技術者で、二人とも現行車では経験できない、本来身につけておくべき技術を学び生かすことを目的にウエマツに入ったという本気の技術者でした。お客様に納めるマシンは、前のオーナーの使い方や経年の程度、環境で大きくコンディションが変わるので単一的な知識や技術では対応できないと言います。浦屋さんはKZ1000AⅡ、磯野さんはDT200WRを所有する自らもバイクフリークで、今回のようなイベントではお客様と一緒にの気を使わないと言えばウソになるけれど、普段会うことの無いお客さんと話ができることは有意義だという。加えて家族が楽しんでくれることはとても嬉しいと顔を綻ばせていた。



お友達に誘われて参加のぶーさんは、大型免許取得1年しか経っていない、強者女子ライダー。W650に一目惚れ。定周りを改造していたが、期待ハズレで元に戻したと、経歴に似合わない走り方でツーリングを堪能する姿が印象的でした。

毎回帆走のウエマツのメカニックのトラック上では、不具合のたバイクは速攻で修理対応してくれるので安心。



BBQで仲間の笑顔に絶え間がない

「ソレイユの丘」に到着後、準備されていた駐車で記念の集合写真撮影が行なわれた。気温は確実に30度越えの真夏日に、広い駐車場にそれぞれのマシンを一行に並べるだけでも大変な状況なのに、参加の皆さんはとても楽しそうだったのが印象的だった。

昼食として用意されたBBQ会場では、暑い中走って消耗したエネルギーを補給すべく、老若男女

問わず、食べ放題の肉、野菜に舌鼓を打った。焼き肉の煙で霞む会場でも、一通り満腹になると、何処のテーブルでも始まるのはマシン談話だった。自分のマシン自慢や改造情報など、話題に暇が無い会話が終わるまで続き、参加者達に笑顔が途切れる時は無かった。



無事到着した参加者とウエマツのスタッフ全員での記念撮影は、笑天下にもがかわらず皆さん元気一杯でした。参加台数も多く、バイクは写真に収まりません。